



地域から学ぶ私たちの未来

平成30年2月20日発行(昭和51年12月1日発刊)

特集
テーマ

地域が学びの舞台 総合的な学習の時間 プラムタイム

宮田村立 宮田中学校の活動

宮田中学校では、地域をテーマに学ぶ「プラムタイム」に取り組んでいます。

宮田村の村政、農業、製造業、商業・特産物、福祉、環境・歴史の各講座の中から興味があり、やりたいテーマを選び、3年間をとおして学びを深めていきます。

長野県の南部、中央アルプス山麓にある宮田村は「梅(プラム)の里」と呼ばれています。宮田中学校は、全校生徒288名(H29年5月現在)の学校です。



1年 宮田村を 知ろう!

調査活動



宮田村を
1年 知ろう!
調査活動
宮田村を
2年 体験
しよう!
職場体験
宮田村を
3年 よりよく
しよう!
提言

2年 宮田村を 体験 しよう!

職場体験



働くことの
楽しさや厳しさを体験。
自分たちの将来について
考える機会となりました。

3年 宮田村を よりよく しよう!

提言



調査・体験での気づきから、村の将来
を願ったアピールや提案をする

働くってどんなこと?
僕らの将来、ふるさとの未来は?
中学生の視点で地域の課題を考えました

これからの宮田村に
何が残るものをつ
くってあげたいな
らいいなと思いました。



食チーム

「食べ物で宮田村を活性化したい」という願いをもち、特産のワインや宮田豆腐などをもっと広めたいと考え、名物の商品開発に取り組みました。



Mcバーガーの商品化 豆乳プリンの商品化

宮田とうふの
豆乳は味が濃く、
とてもまろやかです。
時間が経ってもおいしさが
持続できるように
工夫しました。

伝統文化チーム

村の名所や歴史を巡り地域の方からお話を聞く中で、村の名所を多くの人に伝えたいという強い願いを持ち、オリジナルのかるたづくりに発展しました。



オリジナルの宮田かるたづくり

地域の方に指導して
いただきながら
最初に読み札を作り、
それに合う絵を描きました。

施設チーム

福祉施設を利用されている方をお招きし、喫茶と交流を楽しんでほしい、そんな願いから生まれた一日喫茶店。資金調達やメニューづくりも自分たちでやり遂げました。



地域に根ざした福祉の視点と商店街の活性化に
目を向け取り組みました。
うまくいかないことや
失敗してしまったことも
あったけど、大きなものを
学べました。

各校のボランティア・地域活動の紹介

松川村立 松川中学校

地域の誇りとともに

安曇野ちひろ美術館×松川中学校のあゆみ



折り紙ワークショップ



水彩技法ワークショップ



絵本の読み聞かせ

松川中学校では、2002年から絵本画家い
わさきちひろや世界の絵本画家の作品を
展示する「安曇野ちひろ美術館」で、「夏休み中
生ボランティア」を毎年行っています。
初年度は77名での活動でしたが、現在は多くの生徒が
この活動を楽しみ、毎年全校生徒の約7割前後が主
体的に参加する活動となりました。はじめは美術館の
スタッフの方には「中学生が興味を持ってくれるか」「ボラ
ンティアに応募してくれるか」という不安があったそう
です。長年の活動の積み重ねから「私たちの思いや、活
動そのものが本気であれば、松川中学校の生徒はそれに

「やぎと男の子」いわさきちひろ 1969年
(安曇野ちひろ美術館)
ガイドツアー
松川村は土地柄、全国からの観光客も
多く、ガイドツアーやワークショップに参加して下さ
ったお客様からは「安曇野の良さを伝えてほしい」「中学生
の笑顔が素敵だった」という感想をよくいただきます。
この活動を私たちは「松川中の誇り」として今後も続
け、大人になって松川村に戻ってきたときも「ほくの」、
“わたしの”美術館として様々な形で支えていきたいと思
います。

地域の願いを実現する防災訓練



徳高東中学校では、7月、地域と連携した避難
訓練を行いました。講堂に避難後、各地区担当
職員引率のもと、各地区消防団の皆さんと一緒
に、各地区公民館へ集団下校をしました。



各地区公民館では、区長さんや、地区の役員さん
、消防団の皆さんから、防災倉庫にある備蓄
品や消火器の取り扱い、担架や簡易テントの使
い方、炊き出し等を教えていただきました。

安曇野市立 穂高東中学校の取り組み



災害時の支援ができるよう
なり、将来地元の防災リーダー
となることを期待しています。
校長先生の願い
地域の思い
いざという時
には、地区の弱者(高齢者や小
さな子どもたち)を災害から守
る役割を担ってほしいです。
生徒の感想
自分が避難所で役割を持つと考えたことは
今までありませんでした。私たちも地域に
必要とされていることを強く感じました。
災害時には高齢者に声をかける
など、避難所のみんなを元気に
したいです。

松本市立 旭町中学校

互いの気持ちを通じ合わせて

先輩たちから受け継がれてきた交流



サウンドテーブルテニスで交流



サウンドテーブルテニスで交流

旭町中学校生徒会では、福祉交流委員が中
心になり、20年以上前から続いている松本盲
学校の中学部の皆さんとの交流をおこなっています。
6月には、福祉交流委員みんなで盲学校を訪問しまし
た。点字タイプライターや、視覚に障がい
をもつ方たちが行う卓球「サウンドテーブルテニ
ス」の体験をし、盲学校の皆さんと楽しく交流
をしたり、盲学校について深く学んだら
することができました。見えにくさのある生活
の中で、皆さんが楽しく元気に生活しているこ
ともわかりました。

また、福祉交流委員の呼びかけで年間
を通してアルミ缶収集活動を続けていま
す。このアルミ缶の収益で、盲学校の皆
さんに贈る記念品(卓球用品など)を用意しています。
そして、生徒会の伝統的な活動の一つである全校合唱
でも松本盲学校で歌い継がれてきた「我がシンボル」を
歌ってきました。2学期の校内発表会で行なった、
盲学校の皆さんとの交流会で、この曲を全員で一
緒に合唱できて、お互いの距離が縮まったよう
に感じました。またこの曲は、松本盲学校の文化祭
でも一緒に歌いました。
合唱によってさらに交流が深められたので、こ
れからもこの交流を大切にしていきたいです。